



選挙結果は、
1票、三井
副議長は
89票で当
選しまし



開会日は、道庁北門前に4人が勢ぞろいして「戦争立法への道は許さない！」と訴えました。議長・副議長選挙では北海道結志会が慣例に従わないと申し出ま

した。具体的提案ができて、持ち帰りました。

議員定数101人となり、常任と特別委員会の副委員長が日本共産党に割り振られました。真下紀子議員は、水産林務委員会と、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会の委員となり、両委員会の副委員長に就任しました。

5月14日から開催された第1回臨時会で議長に遠藤連氏、副議長に三井あき子氏が就任しました。日本共産党議員団は、4常任委員会と4特別委員会、議会運営委員会に委員配置が決まりました。知事提案の外形標準課税を拡大する報告案について、総務委員会で菊地葉子議員が質疑。本会議で佐野弘美議員が反対討論に立ちました。

4常任・4特別委員会に委員 真下議員 エネルギー特別委の副委員長に



旭川市では女性後援会のみなさんと一条買物公園で街頭宣伝・署名行動にも参加。「戦争は嫌よね」と、たくさんの方が署名しました。



戦争法案ゆるさない！

臨時議会中は昼休みに札幌市内の街頭に立ち、「戦争する軍事国家へ逆戻りしようとする自民・公明安倍政権。戦争法案の成立を許さず、平和を守るために力を合わせましょう」と訴えました。

外形標準課税拡大に 経営も雇用も破壊

外形標準課税を拡大する知事の専決処分に対し、日本共産党は、質疑・討論し、反対を表明しました。

道の試算では、企業の「もうけ」にかかる税金（所得割）が現行の半分以下に軽減される一方、赤字企業でも支払わなければならない付加価値割、資本割部分を拡大するため、「黒字法人には減税、赤字法人には増税」という図式になります。

20日の総務委員会で菊地議員の質疑で、外形標準課税の対象約4100社のうち赤字は約3300社。赤字法人にかかる道内の外形標準課税額は80億円から120億円へ40億円の課税強化になることを明らかにしました。

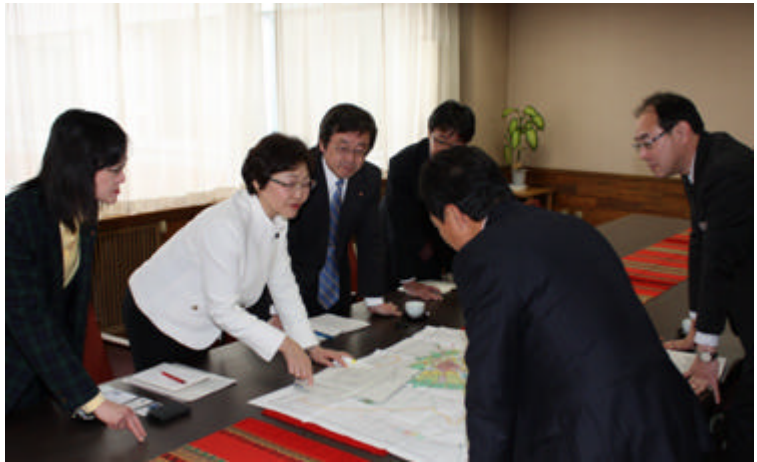
佐野議員は外形標準課税拡大に反対の討論にたちました。「黒字法人に減税の一方で赤字でも課税される。賃金も課税対象となり、人件費を抑えるため派遣労働の活用や外注化が拡大し、雇用の安定化や賃上げに逆行する『雇用破壊税』となる。賛成することはできません」と主張しました。

	常任委員会	特別委員会
真下紀子議員	水産林務（副委員長）	産炭工ネ（副委員長）
菊地葉子議員	総務	少子・高齢社会対策
宮川 潤議員	保健福祉	人口減少問題・地方分権
佐野弘美議員	文教	食と観光

住民要望に応えたい！現地調査と懇談に

医療・介護の集積生かした旭川に

西川市長と、道への要望で意見交換

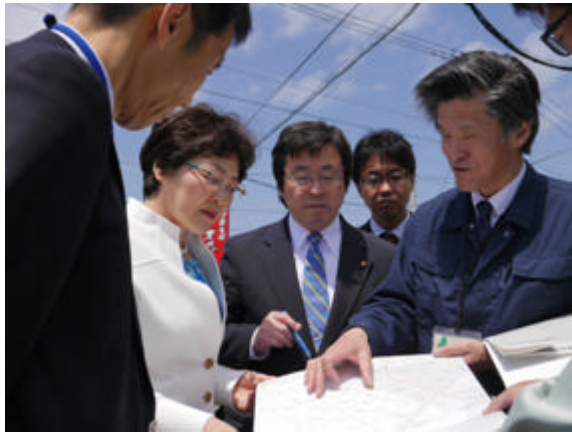


22日、西川将人市長を訪問し、北海道に対する地域からの要望について意見交換をしました。北海道が管理する旭川市内の主要な橋梁の老朽化対策について、市長から「永山中央跨線橋の下から見るとサビなどが目視で確認でき、対策が急務」と、具体的に要望が出されました。真下議員は道の老朽化対策計画に基づき、15・16年度の予定を説明し、予算確保に尽力すると答えました。また、春光台にある道立肢体不自由児総合療育センターと養護学校の新築や、道内一か所の難病

相談支援センターを道北道東をカバーできるように旭川への設置を求める要望が、市長会や難病連からもでてきていることなどについて意見交換しました。来年度に開設される高等養護学校の受け入れ準備など、具体的な要望についても意見が出され、医療・介護・福祉の機能が集積した旭川の街づくりについて熱い思いを共有しました。

東川へ向かう道路の調査についても報告しました。

東川に向かう道道、旭川東郵便局前 幅員減少で事故、安全対策を



東川町に向かう道道は、旭川東郵便局の手前の車線が4車線から2車線に減少します。交通量も増加し、2車線の外に飛び出すなどの事故が多発していると近郊の市民から選挙の演説のさなかに対策を求める声が寄せられました。

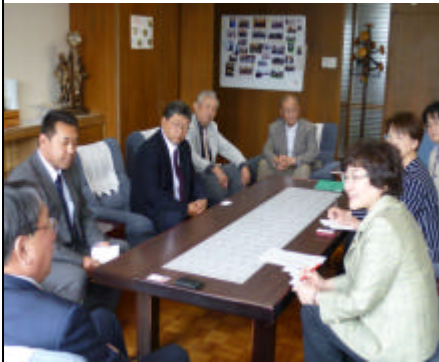


22日、真下議員は上川総合振興局の建設管理部 能登谷繁市議団 長と真嶋隆英市議が調査に同行しました。

から説明を受けました。

現場では旭川側から標識が見えにくいことや、交差点が変則になっているため大型バスなどが曲がりにくいなどの状況を確認しながら、車線減少になっても安全対応できるように改善を求めました。建設管理部で専門的な対策を検討をすることにしました。

深川駅にエレベーター設置を！



山下深川市長と意見交換

21日、「深川駅にエレベーターを！」と1万筆を超える署名が寄せられた深川駅の調査に

向かいました。

山下貴史深川市長から「深川はすべての特急が停まる主要駅です。市としても助成を行い市民の熱意に応えたい」と決意をお聞きしました。「エレベーター設置を望む会」の加藤廣一会長さんらから経過と署名のとりくみについて伺いました。

深川駅には車いす専用の階段昇降機がありますが、お年寄りや杖をついた方、視覚に障害のある方などは使えません。大き

な荷物を持ってホームの移動に32段、31段の階段の昇降は危険に見えます。署名が広がったエピソードも伺い、早期の設置が必要と思われました。菊地議員と佐野議員が同行しました。



駅に設置されている車いす用階段昇降機（リフター）